

■大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K091	環境修復保全機構
2	K092	滋賀県環境保全協会
3	K093	プロジェクト保津川
4	K094	アジア砒素ネットワーク
5	K213	荒川クリーンエイド・フォーラム
6	K214	神奈川海難救助隊
7	K215	京都・雨水の会

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K091	団体名	特定非営利活動法人環境修復保全機構
連絡先 (電話／メール)	042-736-8972	活動ホームページ (URL)	http://www.erecon.jp
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・プロジェクト名	タイ国東北部の塩類集積地における環境修復保全事業		
寄附額合計	¥294,804		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,131	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)タイ東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政機関による塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。</p> <p>(使途)寄附金35,131円と自己資金とを合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2012年1月にはアカシア等の樹木80本を植林しました。また、同時に現地農家の要望を受け、有機農法による野菜づくりも支援しました。</p> <p>(効果)本活動を通して、各家庭の周辺において植林や野菜づくりが広がり、現地農家の栽培意欲や土壌修復保全に取り組む意欲が向上しました。しかし塩類土壌での作物栽培は困難であるため、長期的な視野に立った持続的な農業生産環境の構築を目指して、今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥158,626	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)タイ国東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政機関による塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。</p> <p>(使途)寄附金158,626円(全額使用)と自己資金とを合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2012年8月には耐塩性樹木300本を植林し、塩害対策に関するパンフレット2,000部を配布しました。また昨年に引き続き、有機農法による野菜づくりも支援しました。</p> <p>(効果)本活動を通して、各家庭の周辺において植林や野菜づくりが広がり、現地農家の栽培意欲や土壌修復保全に取り組む意欲が向上しました。塩類土壌の修復と持続的な農業生産環境の構築を目指し、今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥72,541	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)タイ国東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政の塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。ご寄附は塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林等に充てられます。</p> <p>(使途)寄附金72,541円(全額使用)と自己資金を合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2013年5月には耐塩性樹木120本を植林しました。</p> <p>(効果)本活動を通して、各家庭の周辺において植林地が広がりました。塩類土壌の修復を目指して今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,457	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)タイ国東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政の塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。ご寄附は塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林等に充てられます。</p> <p>(使途)寄附金19,457円(全額使用)と自己資金を合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2014年10月に耐塩性樹木60本(Coconut (Cocos nucifera)30本、Tamarind (Tamarindus indica)30本)を植林しました。</p> <p>(効果)本活動を通して、各家庭の周辺において植林地が広がりました。現地農家より感謝の声が寄せられています。塩類土壌の修復を目指して今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥9,049	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)タイ国東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政の塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。ご寄附は塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林等に充てられます。</p> <p>(使途)寄附金9,049円(全額使用)と自己資金を合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2015年9月に耐塩性樹木(Tamarind (Tamarindus indica))20本を植林しました。</p> <p>(効果)本活動を通して、各家庭の周辺において植林地が広がりました。現地農家より感謝の声が寄せられています。塩類土壌の修復を目指して今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K092	団体名	公益社団法人滋賀県環境保全協会
連絡先 (電話／メール)	077-525-2061	活動ホームページ (URL)	http://www.kankyohozen.jp/
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	企業の自主的環境保全活動支援事業		
寄附額合計	¥249,241		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,165	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 龍谷大学RECエクステンションセンターと共催で開催した、水質管理の最新技術の紹介と企業の取り組み事例を学ぶ講習会を開催しました。これは、実践的な産学連携を目指すことを目的としたセミナーです。</p> <p>(使途) 寄附して頂いた30,165円と協会の資金とRECエクステンションセンターの資金を併せ、セミナー講師の謝金、資料印刷代等に充てることにより、参加者には無料で参加して頂くことができました。</p> <p>(効果) 従来の産学連携は、関心のある企業が積極的に行ってききましたが、広くセミナーで大学の技術の紹介と企業の取り組み事例を盛り込むことでそれぞれの立場の課題や情報が入手することができる場となった。24年度は複数の大学と企業が水環境の課題について一緒に勉強しながら社会的課題の改善に取り組む研究会を立ち上げる予定です。是非多くの方にご参加頂きたいと考えています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,710	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 龍谷大学エクステンションセンターと共催で、24年1月から3月まで6回の「水質管理実務講習会」を開催しました。企業で水質管理を担当されている方を対象とした連続の実務講習会です。</p> <p>(使途) 寄附して頂いた97,710円と当協会及び龍谷大学の資金を併せ、講師の謝金、実験の試料代金、資料印刷代等に充てることにより、受講者には低価格で参加して頂くことができました。</p> <p>(効果) 従来の単発的な講習会ではなく、座学、実験、施設見学を織り交ぜたことや受講者からの質問を予めお聞きし、最終日にその内容についての相談会を催すなどで充実した講習会にすることができました。受講者の評価も高く、24年度も引き続き開催しており、企業の環境保全活動の支援を行っております。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥82,061	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>龍谷大学との共催で公害防止管理者(水質関係)集中講座を平成25年9月19日と20日の2日間実施する。講師2名に応募者17名で、そのときの講義用テキスト代および講師料に寄附金82,061円を使用する。</p> <p>今年初めての試みのセミナーであったが、平成26年度以降も継続開催を望む声が当協会員以外の企業ならびに行政機関からもあり、今後期待がかかる講座に育てる所存である。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥30,757	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>法令を遵守することは今や必須条件となっています。法令遵守体制の強化と、法令・条例を基礎から学んでいただくために法条例を学ぶ講習会を延べ5回、5日間実施している。本年度は約300名の方にご参加いただきました。</p> <p>本講習会は社内の従業員環境教育プログラムとしても実施しているが、その時のテキスト代に寄附金30,757円を利用することで、より参加しやすい受講料を設定することができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,548	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では法令、条例を基礎から学んでいただくための講習会を開催しています。CSR(企業の社会的責任)を推進する上で、法令を遵守することは今や必須条件です。</p> <p>平成27年上期は、法令遵守体制の強化と、法令・条例を基礎から学んでいただくために「法・条例を学ぶ講習会」を延べ5回、5日間実施しました。(産業廃棄物編)(大気編)(水質編)(土壌汚染編)(滋賀県の温暖化対策取組編)</p> <p>本講習会は企業内の従業員環境教育プログラムとしても実施していただいております。上期には約300名の方に参加いただきました。また下期には県の出先機関がある6つの環境事務所及び大津市との共催による各地域別の環境レベルアップを図る目的で環境保全勉強会を実施しました。</p> <p>寄附金はテキスト代として使用することで、参加しやすい受講料を設定することができたため、参加者の増員につなげることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K093	団体名	特定非営利活動法人プロジェクト保津川
連絡先 (電話／メール)	0771-20-2569	活動ホームページ (URL)	http://hozugawa.org/
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	京都・保津川環境保全		
寄附額合計	¥261,608		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥40,748	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、近年、大量の漂着ゴミによる環境悪化が大きな問題となっている保津川の環境保全活動に取り組んでいます。毎月1回の定例清掃会(参加人数70名～200名)や河川巡視活動をはじめ、日本初となる漂着ゴミ等の実態をリアルタイムで把握するオンライン・ゴミマップの開発・改良を行っています。</p> <p>(使途)このたびご寄附頂いた40,748円と、当会の資金を合わせて、保津川流域河川の清掃イベントの募集チラシ等の郵送費等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)定例清掃会では、多い時で、20L入りの土嚢袋で約300袋分の漂着又は不法投棄されたゴミが回収されることがあります。このゴミは放置しておく、保津川を通して、保津峡や嵐山といった観光地の景観を汚すことにもなり、この清掃活動がそれらを未然に防ぐ要素として重要視され、また、河川流域の問題点や改善点を共有する情報交換の場としても活用されています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥110,615	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)近年、大量の漂着ゴミによる環境悪化が大きな問題となっている保津川の環境保全活動に取り組んでいます。毎月1回の定例清掃会(参加人数70名～200名)や河川巡視活動をはじめ、日本初となる漂着ゴミ等の実態をリアルタイムで把握するオンライン・ゴミマップの開発・改良を行っています。</p> <p>(使途)このたびご寄附頂いた110,615円と、当団体の資金を合わせて、保津川流域河川の清掃イベントの募集チラシ等の郵送費、ゴミマップの改良等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)ゴミマップの運用は、保津川だけでなく他河川においても運用が順次始まっています。保津川では、地域住民の方による漂着ゴミ調査が行われた結果、河川環境に関心を持つ人が増え当団体の定例清掃会の参加者増だけでなく自発的な地域の清掃活動も熱心に行われています。今後はこの保津川の事例を元に、ゴミマップをひとつのツールとして全国展開を目指しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,740	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では2007年の設立以来、毎月、京都府亀岡市内の保津川(桂川)や支流にて定例清掃会を開催しています。</p> <p>いただいた寄附金は、保津川で毎月実施している定例清掃会に必要な備品(ゴミ袋、金ばさみ、医薬品)の購入にあてました。</p> <p>平成25年度は、台風18号による洪水などで大量のゴミが漂着し、例年にない大量のゴミを回収しました(現在、年間の参加者数および回収量は集計中)。来年度以降も、毎月の定例清掃会をはじめ、保津川の環境保全に向けた活動に引き続き取り組んでいきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,457	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では2007年の設立以来、毎月、京都府亀岡市内の保津川(桂川)や支流にて定例清掃会を開催しています。</p> <p>いただいた寄附金は、保津川で毎月実施している定例清掃会に必要な備品(ゴミ袋、医薬品)の購入にあてました。</p> <p>平成26年度は、合計10回の清掃イベントを開催し、590名の参加者がありました。今年も台風や集中豪雨による洪水などで大量のゴミが漂着し、大量のゴミを回収しました(年間の回収量は集計中)。来年度以降も、毎月の定例清掃会をはじめ、保津川の環境保全に向けた活動に引き続き取り組んでいきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥41,048	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>毎月第3日曜日に、京都府亀岡市内を流れる保津川及びその支流で流域住民及び行政機関との協働により「保津川クリーン作戦」を実施し、漂着ゴミの回収を実施するとともに、ゴミの組成を調査しました。</p> <p>いただいた寄附金は、クリーン作戦の実施に必要な備品(ゴミ袋、医薬品など)の購入にあてました。</p> <p>今年も台風や集中豪雨による洪水などで大量のゴミが漂着し、大量のゴミを回収しました。平成26年度の清掃活動の参加者数はのべ703名、20リットル土嚢袋×813袋(かさ容量16.2t)ほか粗大ゴミ多数を回収しました(平成27年度の参加者数及び回収量は集計中。平成28年4月以降にHP(http://hozugawa.org/)にて公開予定)。来年度以降も、毎月の定例清掃会をはじめ、保津川の環境保全に向けた活動に引き続き取り組んでいきます。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K094	団体名	特定非営利活動法人アジア砒素ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	0985-20-2201	活動ホームページ (URL)	http://www.asia-arsenic.jp/
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	砒素汚染地域における安全な水供給施設の建設		
寄附額合計	¥329,323		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥149,838	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、アジアの飲料地下水砒素汚染による健康被害を減らすために、安全な水の供給と慢性砒素中毒患者の医療支援にとりこんでいます。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた149,838円で、バングラデシュ国ジョソール県オバイナゴール郡シュリダルプールユニオン、ボルニ村ミドル集落に、安全な水のでる深井戸1基を設置しました。併せて砒素中毒の正しい知識を知ってもらうために集落会合、フリップチャート(紙芝居)での啓発を行いました。住民とAANスタッフが一緒に集落地図を作成して、深井戸代替水源の設置場所を決めました。この集落は、50世帯、約225人が暮らし、今まで利用していた浅井戸は飲料水基準を超える砒素を含んでおり対策が急がれる地域でした。</p> <p>(効果)井戸の利用者は50家族(約225人)であり、これらの人々が安全な飲料水の利用により、砒素汚染による健康障害から免れることができるようになりました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,424	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)アジア砒素ネットワーク(AAN)は、アジアの飲料水砒素汚染問題の解決のために水供給と患者支援を行っている。バングラデシュでは3500万人が慢性砒素中毒症のリスクに晒されるとされる。長年の多機関の努力の結果、約半数の人が安全な水にアクセスできるようになったが、残りの地域での迅速な水供給が期待されている。</p> <p>(使途)バングラデシュ国ジョソール県ケシャプール郡は砒素汚染率の高い地域である。AANはケシャプール郡と協力し、全砒素汚染地域に安全な水を届ける取り組みを行っている。今回のご寄附いただいた資金(全額)で、ケシャプール郡ビデヤナダカティユニオンハサンプール村に深井戸1基を設置した。</p> <p>(効果)本事業は、代替水源設置と並行し安全な水利用と健康的な生活を支える地域開発を行った。今回安全な水を得た175人が、継続して設備を利用し、将来にわたり健康的な生活を送ることが期待される。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥56,059	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)アジア砒素ネットワーク(AAN)は、アジアの飲料水砒素汚染問題の解決のために水供給と患者支援を行っている。バングラデシュでは2千万人余が慢性砒素中毒症のリスクに晒されており、迅速な水供給が課題となっている。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた資金(全額)では、ジョソール県ジョソール市アリプール・ユニオンのコラダガ村ミドル集落に深井戸1基を設置した。AANは同ユニオンなどを対象に2013年3月から非感染性疾患リスク低減事業に取り組んでいるが、同集落で12人の砒素中毒患者が見つかり、ユニオン議会とも協議して、早急に安全な水を供給することが必須と判断した。</p> <p>(効果)本事業は、深井戸設置と並行して安全な水利用と食生活やライフスタイルの見直しなど、住民に直接訴える活動を行った。今回安全な水を得た64世帯(約320人)がこの深井戸を継続利用し、将来にわたり健康的な生活を送ることが期待される。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,956	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、アジアの飲料地下水砒素汚染による健康被害を減らすために、安全な水の供給と慢性砒素中毒患者の医療支援にとりこんでいます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた20,956円では、AANの資金を追加して、バングラデシュ国ジョソール県オバイナゴール郡ボシュンディアユニオン、ガイドゥガチ村ドルモンディール集落に、安全な水のでる深井戸1基を設置しました。井戸の深さは189メートルで、乾季には地下水位が低下して水の汲み出しが困難になる地域の為、ムーンポンプという特殊な手押しポンプを取り付けました。この集落の世帯数は30世帯で約150人が暮らしていますが、今まで利用していた浅井戸の多くは飲料水基準を超える砒素を含んでおり、5人の砒素中毒患者が登録されています。</p> <p>(効果)同集落の人々が安全な飲料水の利用により、砒素中毒の症状を緩和したり砒素汚染による健康障害から免れることができるようになりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,046	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、アジアの飲料地下水砒素汚染による健康被害を減らすために、安全な水の供給と慢性砒素中毒患者の医療支援にとりこんでいます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた7,046円では、AANの資金を追加して、バングラデシュ国チャンドプール県アシュラフプールユニオン、ガイドゥガチ村ドルモンディール集落に、安全な水のでる深井戸1基を設置しました。井戸の深さは189メートルで、乾季には地下水位が低下して水の汲み出しが困難になる地域の為、ムーンポンプという特殊な手押しポンプを取り付けました。この集落の世帯数は30世帯で約150人が暮らしていますが、今まで利用していた浅井戸の多くは飲料水基準を超える砒素を含んでおり、5人の砒素中毒患者が登録されています。</p> <p>(効果)同集落の人々が安全な飲料水の利用により、砒素中毒の症状を緩和したり砒素汚染による健康障害から免れることができるようになりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K213	団体名	特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
連絡先 (電話／メール)	03-3654-7240	活動ホームページ (URL)	http://www.cleanaid.jp/
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	クリーンエイド活動(ゴミ調査・ゴミ拾い)		
寄附額合計	¥197,839		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,281	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>☆荒川クリーンエイド 年間参加者1万人の活動を充実 荒川流域全体(上流は埼玉県の秩父から、下流は東京湾まで)で行う清掃活動「荒川クリーンエイド2010・2011」において寄附金を使用しました。</p> <p>参加者は各年とも年間で1万人を超えました。軍手やゴミ袋に加え、特に、2010年において、参加者が使用する調査カードをに寄附金を充当させ、年間参加者の7割強に当たる参加者に、厚手の本カードを支給し、参加者の活動をサポートし、河川環境の保全意識の醸成に寄与した次第です。</p> <p>【年間参加者】 2010年の年間参加者は10,675人、2011年は参加者11,223人</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥93,317	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>☆荒川クリーンエイド 年間参加者1万人の活動を充実(全額使用) 荒川流域全体(上流は埼玉県の秩父から、下流は東京湾まで)で行う清掃活動「荒川クリーンエイド2012」において寄附金を使用しました。</p> <p>参加者は各年とも年間で1万人を超えました。今回いただいた金額も考慮しながら、軍手やゴミ袋に加え、マイボトルや参加者に配布するマニュアルなども含めた活動物資全体の発送費が高額になることから、当該費用に寄附金を充当しました。</p> <p>これにより、荒川クリーンエイドの運営を効果的かつ効率的に行い、2012年も翌年に続き過去最高の参加者数を更新することができました。これに準じてひとりでも多くの方々へ河川環境意識の共有を実現できることを想定しています。</p> <p>【年間参加者】 2012年の年間参加者は13,183人、2011年は参加者11,223人</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,754	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)荒川河川敷では、沿川の市民団体、企業、学校、自治体などが、それぞれ荒川クリーンエイド活動(ゴミ拾い・ゴミ調査)を実施し、市民が環境保全の意識を高めていくことを目指して活動を続けています。 年間1万人以上が参加し、100回以上実施される荒川クリーンエイド活動が、安心・安全に実施されるよう、また、拾い集めたゴミが滞りなく回収されるよう、参加団体、行政との連絡調整を当フォーラムが担っています。</p> <p>(使途)(1)川の環境への関心を高めるため、ゴミ拾いと併せて行う「簡易水質調査キット」(COD、pH、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、亜硝酸態窒素のバックテスト)の購入、(2)子どもたちが安全に荒川クリーンエイド活動に参加するための「子ども用軍手」の購入に当てさせていただきました。</p> <p>(効果)荒川とその支流20ヵ所で水質調査が実施され、市民が川の水質に関心をもち、市民参加で川の間を守ることへの関心を高めることができました。また、未来を担う子どもたちが安全に川の環境活動に参加できることにつながりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,448	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)荒川河川敷では、沿川の市民団体・企業・学校・自治体などが、それぞれ荒川クリーンエイド活動(ゴミ拾い・ゴミ調査)を実施し、市民が環境保全意識を高めていくことを目指して活動を続けています。 年間1万人以上が参加し、100回以上開催される荒川クリーンエイドの活動が、安全・安心に実施されるよう、また拾い集めたゴミが滞りなく回収されるよう、参加団体、行政との連絡調整を当フォーラムが担っています。</p> <p>(使途)今回は、安全に活動できることを第一に考え、当会の資金と合わせて、軍手(大人用720双、子ども用48双)の購入に当てさせていただきました。</p> <p>(効果)荒川の各地でゴミ拾いをする際に、持参を忘れた方のための予備として軍手を備え、安全にゴミ拾い活動が行われました。ゴミ拾いを通じて市民参加で川の間を守ることへの関心を高めることができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,039	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)荒川河川敷では、沿川の市民団体・企業・学校・自治体などが、それぞれ荒川クリーンエイド活動(ゴミ拾い・ゴミ調査)を実施し、市民が環境保全意識を高めていくことを目指して活動を続けています。 年間1万人以上が参加し、100回以上開催される荒川クリーンエイドの活動が、安全・安心に実施されるよう、また拾い集めたゴミが滞りなく回収されるよう、参加団体、行政との連絡調整を当フォーラムが担っています。</p> <p>(使途)今回は、安全に活動できることを第一に考え、当会の資金と合わせて、軍手(大人用180双、子ども用24双)の購入に当てさせていただきました。</p> <p>(効果)荒川の各地でゴミ拾いをする際に、持参を忘れた方のための予備として軍手を備え、安全にゴミ拾い活動が行われました。ゴミ拾いを通じて市民参加で川の間を守ることへの関心を高めることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K214	団体名	特定非営利活動法人神奈川海難救助隊
連絡先 (電話／メール)	045-461-3373	活動ホームページ (URL)	http://www.shonanfujisawa.com/~brave2sn
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	「海の浮遊ごみ回収作戦」の海洋環境保全事業		
寄附額合計	¥291,813		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥37,781	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)横浜港を中心に浮遊ごみ回収を10回実施しました。浮遊ごみ回収総量は114.3キログラムでした。参加人数は延べ75名でした。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた37,781円と当団体資金を合わせて、その内37,781円全てを浮遊ごみ回収使用船舶燃料代に充てました。</p> <p>(効果)皆様から多額の寄附金をいただいた事で多数回の浮遊ごみ回収が実施できました。また、海洋環境保全に貢献も出来ました。今後も、浮遊ゴミ回収活動を継続致します。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥130,093	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)横浜港を中心に浮遊ごみ回収を18回実施しました。浮遊ごみ回収総量は104.7キログラムでした。参加人数は延べ137名でした。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた130,093円の全てを浮遊ごみ回収使用船舶燃料代に充てました。</p> <p>(効果)皆様から多額の寄附金をいただいた事で多数回の浮遊ごみ回収が実施できました。また、海洋環境保全に貢献も出来ました。今年度は浮遊ごみ総量と参加者も増加し、市民の海洋環境保全に関心と興味が高まりました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥94,852	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)横浜港及び東京湾の海洋浮遊ごみ回収を12回実施しました。浮遊ごみの回収量は合計123キログラムでした。主に回収されたごみはビニール類が多数を占めました。海洋浮遊ごみ回収参加者は述べ88名でした。</p> <p>(使途)この度ご寄附していただいた94,852円と当団体充当金を合わせて、その内94,852円全てを海洋浮遊ごみ回収使用船舶燃料代に充てました。</p> <p>(効果)皆様から多くの寄附金をいただいた事に依り、多数回の海洋浮遊ごみ回収活動が実施でき、多くのごみを回収する事が出来ました。これからも海洋浮遊ごみ回収活動を継続し、海洋環境保全活動に貢献してまいります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥22,548	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)横浜港を中心に浮遊ごみ回収を20回実施し、浮遊ごみ回収総量は518.9キログラムでした。浮遊ごみ回収作業従事者は108人でした。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた22,548円は全て浮遊ごみ回収時使用船舶燃料代に充てました。</p> <p>(効果)皆様から貴重な寄附金をいただいたことで、充実した浮遊ごみ回収を多数回実施できました。多種類の浮遊ごみを回収したことで、海洋環境保全に貢献できました。今後も浮遊ごみ回収活動を継続します。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,539	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)横浜港を中心に浮遊ごみ回収作業を15回実施し、浮遊ごみ回収総量は約280キログラムで、作業従事者は77名でした。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた6,539円は、全て浮遊ごみ回収作業船舶の燃料代に充当しました。</p> <p>(効果)皆様から貴重な寄附金をいただいたことで、充実した浮遊ごみ回収活動を多数回実施できました。依って、多種類の浮遊ごみの回収ができた事で、海洋環境保全に貢献できました。今後もこの浮遊ごみ回収活動を継続致します</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K215	団体名	特定非営利活動法人 京都・雨水の会
連絡先 (電話／メール)	075-581-3619	活動ホームページ (URL)	http://amamizu.org/2011/index.html
対象分野	大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	雨水ネットワーク会議 in 関西		
寄附額合計	¥198,776		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥28,981	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 気候変動に伴う雨・水危機に都市はどう立ち向かうのか。この解決に向けた会議を開催する。地球温暖化やヒートアイランド現象で都市での洪水や濁水が頻発化しつつある。都市での雨水の排水、貯留、浸透や蒸発などの雨水活用の情報を集約し、提供する。</p> <p>(使途) 2011年8月5・6日、大阪ドーンセンターで開催した「第4回雨水ネットワーク会議全国大会2011in大阪」の種々の諸経費に使っています。昨年2月のプレシンポジウム「これまでの雨水利用とこれからの雨水活用」の開催や4回の実行委員会、9回の実務者会議等の交通費や当日の経費等になどです。</p> <p>(効果) 両日で630名もの参加者を得て盛会に終わり、報告書も9月には作製しました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,948	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 日本で活動する「雨水活用」団体が年に一度集まって情報交換などを行っています。今回は、大阪で11団体が実行委員会を造って、開催しました。</p> <p>(使途) 2011年8月、大阪市で開催した「第4回雨水ネットワーク会議全国大会2011in大阪」の準備に係る人件費等の経費69,355円や13回の実行委員会等の交通費(27,040円)、当日の経費等(67,770円)に使用しました。実行委員会にも10万円の寄付を行っています。また、この会議の前後の雨水活用の学習会「水のえん」の講師謝礼等にも使用しました。(52,540円/3回)</p> <p>(効果) 会議は両日で630名もの参加者を得て終わりました。また、報告書も9月には作製しました。寄附額が多かったので、この会議の趣旨を受け「雨水活用コンクール」事業を行いました。合計6台の雨水タンクを寄付し、啓発しました。(282,809円)。さらに、2012年8月の「全国大会in東京」の経費に使用しました。(38,630円)</p> <p>合計638,144円の支出となり、家電エコポイント(564,726円)の方を終了させ、繰越金が21,530円となっています。6月に予定している「水のえん」に使用予定</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,361	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 「あまおとから始まる雨水活用」セミナーの経費に使用した。後は、当会の事務所経費として使用しました。</p> <p>(用途) 2013年6月1日に開催した、「あまおとから始まる雨水活用」セミナーの講師旅費と謝金に20,000円使用しました。講義内容は、雨を生活の中で活かしながら楽しむノウハウなど。また、雨水活用が環境問題解決に必要なことからの新しい考え方について説明。さらに、2011年に調査された、雨水タンクの放射能汚染調査についてもふれ、安心して雨水活用するためのポイントを説明。残ったお金は、当会の仮事務所の使用料(5,000円/月)の7ヶ月分に利用させていただきました。</p> <p>(効果) セミナーの参加者30名ほどには、参考になったとの意見がありました。放射能や雨水についての理解も深まったとのこと。仮事務所での、日々の事業の企画、広報、集計、報告、打ち合わせ等効率よく行えています。また、月に一度の事務局会議や理事会も資料が手元にあるので集中できます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,947	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会は京都で雨水活用の普及啓発を行っています。今回は、昨年国会で成立した「水循環基本法」「雨水利用推進法」の情報の拡散を目指して下記のセミナーを開催しました。</p> <p>(使途) 今回ご寄附いただいた17,947円は、セミナーの講師謝礼と旅費の5万円の一部分として、全額使用させていただきました。</p> <p>「これからの雨水、地下水を考えよう！」 ～水循環基本法、雨水利用促進法が成立したことを受けて～ 温暖化によって水循環が激変するなか、自治体や地域は、どのように自分たちの水を保全し、活用していくかを考えます。 日時: 2014年6月21日(土) 14:00～16:00 場所: キャンパスプラザ京都 講師: 橋本 淳司さん 水ジャーナリスト/アクア・コミュニケーター アクアスフィア代表</p> <p>(効果) 60名ほどの参加をいただきました。今後、更に情報発信していきます。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,539		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、雨水の活用等の普及啓発活動をしています。そのために、年に2～3度の関連施設等の見学会等実施しています。</p> <p>(使途) この見学会等のお知らせのチラシ作成等に、プリンターのインク等の消耗品に使用させて頂きました。</p> <p>(効果) 4月の京都市伏見の酒蔵見学会や、9月の関西電力蹴上発電所の見学会の広報等に役立ちました。それぞれ定員近くの方々に参加いただきました。</p>		